

カラシンのなかま

カラシンの種類は多く、小型美魚のネオンテトラから大型肉食魚のピラニアまでその数は約1,500種もいるんだ。背ビレと尾ビレの間に脂ビレと呼ばれる小さなヒレがあり、アコには小さなすどい歯があるのが特徴だよ。

小型カラシンは「美魚」の名に恥じない美しい色彩・光沢を持ち、群れて行動しているところがきれいだよ。



ネオンテトラ (3cm)

熱帯魚の入門種といえるこれ。水草水槽に群れて泳ぐのを一度は見たことあるかも。安価で飼育も簡単だよ。



ラミノーズテトラ (5cm)

頭の赤いきれいなテトラ。健康なほど真っ赤になるから、選ぶときもできるだけ頭の赤いものを選ぼう。



マーブルハチェット (4cm)

マーブル模様美しい。水面近くで生活し、驚くとジャンプするので、水槽の蓋はしっかり閉めよう。



レモンテトラ (4cm)

全体に黄みを帯びて、尻ビレは特に黄色い。飼育も簡単。水草の新芽を食べることがあるから注意してね。



カーディナルテトラ (4cm)

最も美しいテトラといえばこれ。ネオンテトラより腹の赤ラインが長く鮮やかで、群れて泳がせればとてもきれいだ。



レッドファントムテトラ (4cm)

派手な色彩で、燃えるような赤が魅力のテトラ。オスの背ビレは美しく伸長するよ。



ネオプロス

幅広い熱帯魚に毎日安心して与えられる、新世代プロバイオティクス フレークフード。8つの機能を持ち、2つの生菌（ひかり菌とGB菌）がフンや残餌を分解。水とろ材の汚れをおさえる。



クレストカラシン

水中をただようようにゆっくりと沈み、視認性に優れた赤色粒が魚を引きつけます。また動物性原料と植物性原料をバランス良く配合し、色揚げ成分が美しい体色を維持します。

コイのなかま

金魚や錦鯉、ドジョウもコイの仲間だから、日本人にはなじみ深いグループ。飼いやすいし、世話をするうちにどんどん美しくなるんだ。コイは、口の中に歯を持たず、のどに咽頭歯と呼ばれる歯を持つことが特徴の一つ。口ひげを持つものも多く、カラシンと違って脂ビレが無いよ。カラシンがいるアマゾン川など南米大陸にはいないんだ。



ゼブラダニオ (4cm)

熱帯魚の入門種のひとつ。安価で、丈夫で、繁殖も容易なんだ。割と大きな背ビレと、体の縞模様特徴。



ラスボラ・ペテロモルファ (3.5cm)

側面の三角の模様特徴の、小型コイの代表種。丈夫でエサもよく食べ、飼育も簡単。



チェリーバルブ (4cm)

真っ赤に染まったオスは特に美しい。初心者にも飼いやすく、性質もおとなしいので混泳も容易。

グーラミィのなかま

このなかまには「ラビリンス器官」というものが付いていて、水中の酸素が少なくなっても水面から口を出し、直接酸素を取り込むことができる。子育てするときには、水面の草などにオスが口から空気を吐いて泡巣（バブルネスト）を作るんだ。また、細長い腹ひれを触覚みたいに使える仲間もいるよ。



ゴールドハニードワーフグーラミィ (5cm)

鮮やかな黄色とオレンジが人気の改良種。状態が良いとヒレが真っ赤になるよ。飼育も簡単で穏和な性格。



ネオドワーフグーラミィ (6cm)

ドワーフグーラミィの青い発色を強調させた改良種。ショップでもよく見かけ、飼育も容易。



パールグーラミィ (10cm)

全身に真珠をまとったような中型種。発情したオスはのどから腹部が赤くなり、真珠の模様がかがやくんだ。